

(株)九州リースサービスについて

会社概要

会社名	株式会社九州リースサービス
本社所在地	福岡市博多区博多駅前4-3-18
代表者名	代表取締役社長 礒山 誠二
設立	1974年11月1日
事業内容	リース、ファイナンス、フィービジネス事業 他
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード8596)
主要株主	(株)西日本フィナンシャルHD、福岡地所(株) 他
資本金	29億3,330万円
売上高	335億円(2024/3月末現在 連結ベース)
従業員数	186名(2024/3月末現在 連結ベース)

企業理念

“共存共栄”

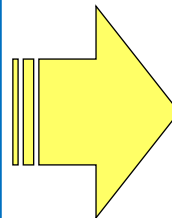
企業経営に必要な付加価値の高いサービスを提供していくことによりお客さまと共に発展・成長することを目指します。

“地域貢献”

地域に根ざした総合金融サービス企業として、地域経済の発展に貢献します。

店舗網

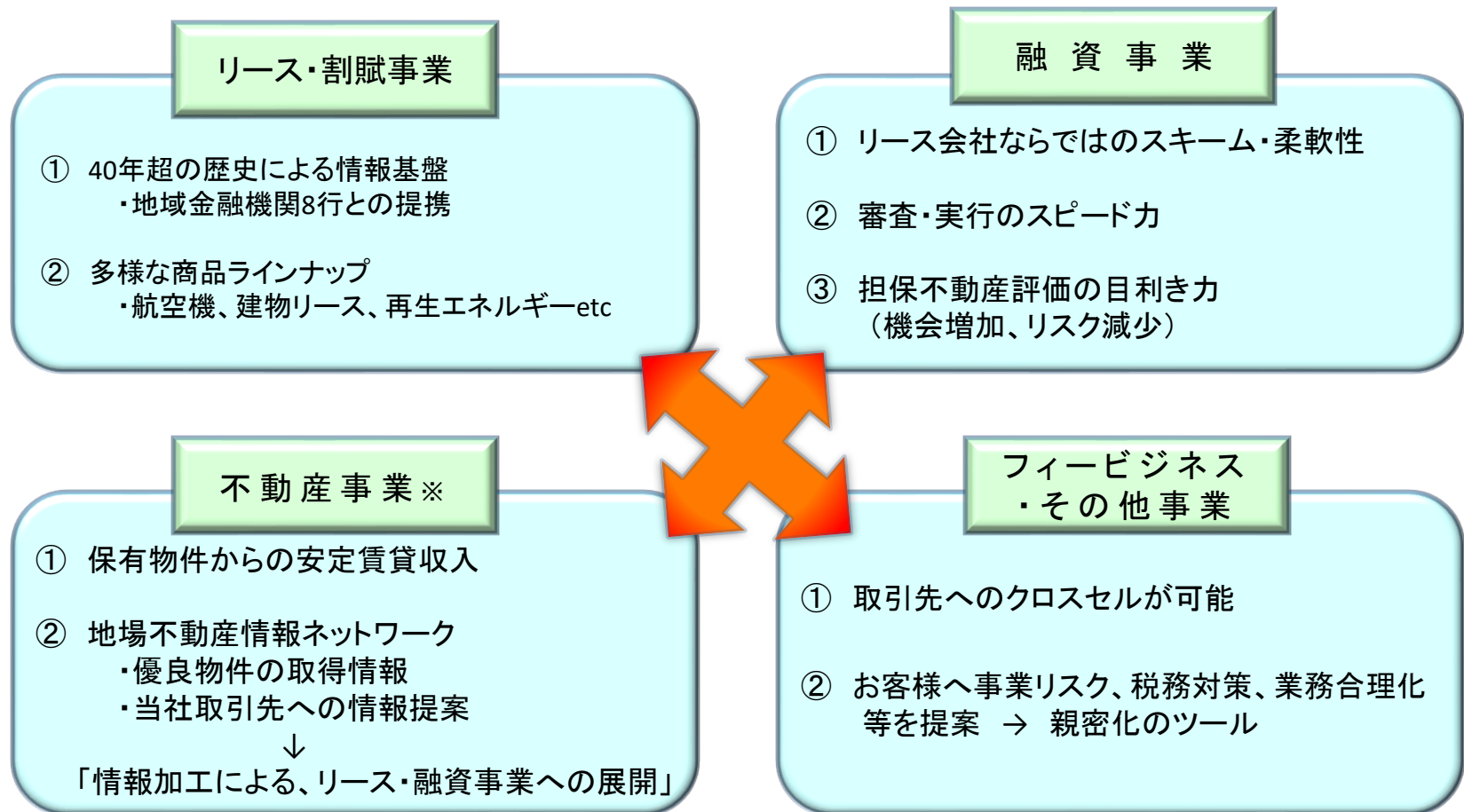
- | | |
|--------|-------|
| ・福岡本社 | ・熊本支店 |
| ・北九州支店 | ・大分支店 |
| ・久留米支店 | ・長崎支店 |
| ・東京支店 | |



九州・山口全域へ

東京進出(2017年5月)

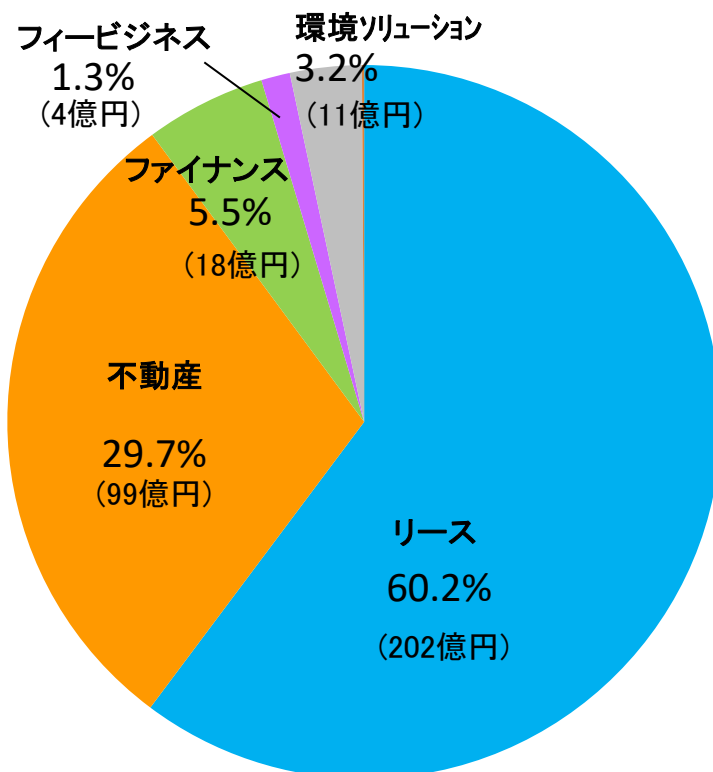
ビジネスモデル(強み)～地場情報力と各事業の融合



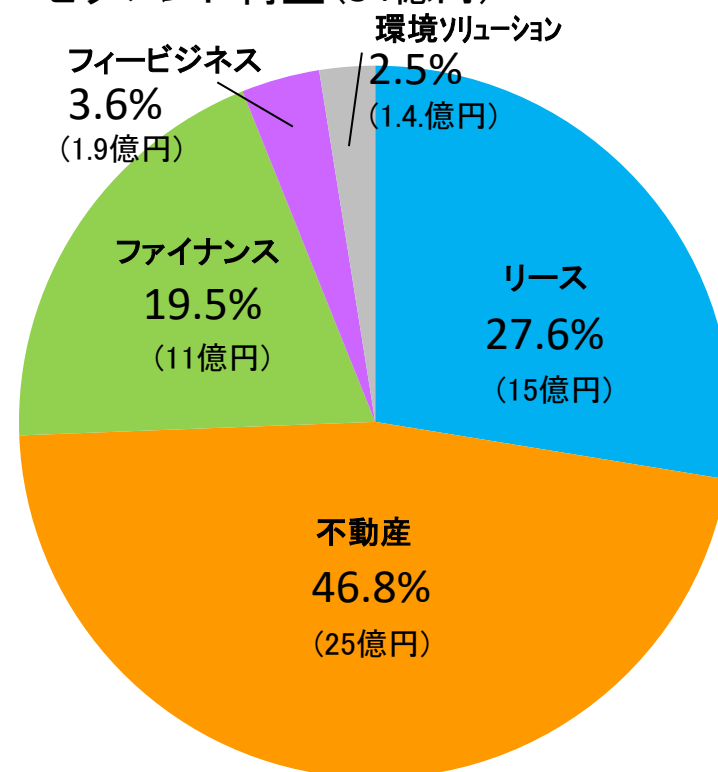
※不動産事業につきましては当社グループの(株)ケイ・エル・アイでのお取り扱いになります。

事業の内容 (2024年3月期)

➤ 売上高 (335億円)



➤ セグメント利益 (54億円)



2017年12月東証一部上場



- 営業基盤の拡充、資金調達能力の増大、財務体質の強化
- 社会的信用度・知名度の向上、社員のモラルUP

当社グループの事業内容と特色

- ◇ リース事業
- ◇ 不動産事業※
- ◇ ファイナンス事業
- ◇ 各種代理店事業
(カーリース、生損保代理店業務※)
- ◇ 自動車リース事業
- ◇ その他の事業

〔 ※不動産事業及び生損保代理店業務は当社グループの
(株)ケイ・エル・アイでのお取扱いになります。 〕

リース事業

一般リース



←
オフィス機器



↑ 平面研削盤(工作機械)



↑ 油圧ショベル(建設機械)



←
医療用MRI

リース事業

LED照明レンタル



・当社グループの(株)ケイ・エル・アイにおいては、LEDのレンタル事業を展開。
LED照明は照度を落とさずに、消費電力を40%～50%削減可能です。

初期投資不要で「エネルギー削減」「CO2削減」及び「コスト削減」を実現いたします。

＼ LEDでコストを削減!! …は当たり前! /

初期投資
不要!

**LED照明は
レンタルでもお得に!**



- 1 レンタルで導入するため、初期投資がかからない。
- 2 電気料金の削減でレンタル料が捻出できる。
- 3 省エネに効果があり、社会に貢献できる。

節電

長期保証

電力使用量削減

初期投資なし

リース事業

建物リース

- 合計34施設56テナントを取組
- 長期安定資産として積極推進



↑カノビアーノ福岡:結婚式場
(福岡市中央区大名)

クロス21UTO →
:複合商業施設
(熊本県宇土市)



←Avant Mall 菊陽
(熊本県菊池郡菊陽町)

リース事業

再生可能エネルギー

みやま合同発電所



- 2012年7月九州初のメガソーラー共同事業、現在6カ所取組

不動産事業（当社グループの(株)ケイ・エル・アイでのお取り扱いになります）

宅地建物取引業者免許番号 福岡県知事（9）第8444

号



賃貸マンション（福岡市）



東横イン西中洲
（福岡市）



辛島駐車場（熊本県）

- ・ 不動産賃貸を中心に不動産売買や仲介の事業を展開
- ・ 商業施設や賃貸マンション等、九州内にて約40物件を所有
- ・ 収益の柱として推進しつつ、リースとの相乗効果を図る

ファイナンス事業

登録番号 福岡財務支局長（13）第00032号



物流施設出資案件（埼玉県）

- 法人向け融資やプロジェクトファイナンス、事業出資などによりお客さまをサポート
- 総合金融サービスの一環としてリース・不動産と連携

各種代理店事業

◆カーリース

- ・煩雑な納税やメンテ、保険の手続を代行、事務合理化をサポート



◆生命保険代理業務※

- ・経営者・従業員の保障確保のみならず、事業資金の確保・役員退職金の準備・コスト削減など法人特有のニーズに、多種多様な商品から最適なプランを提案

◆損害保険代理業務※

- ・災害や事故に対する最適かつ効率的な保障プラン提案

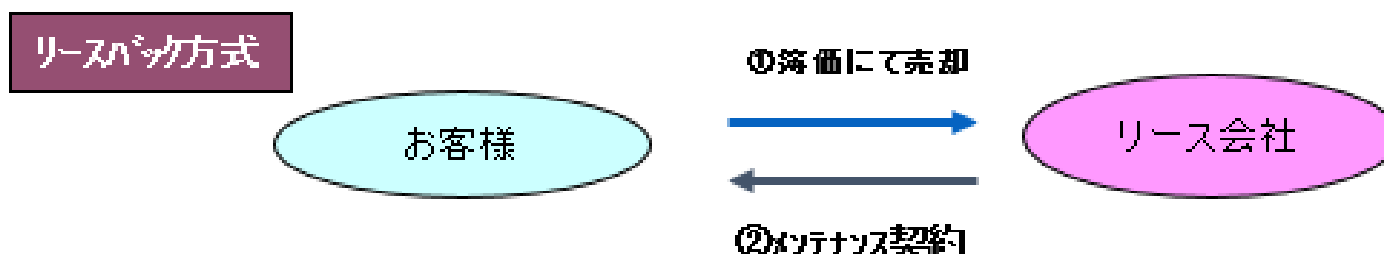
〔 ※当社グループの(株)ケイ・エル・アイでのお取り扱いになります。 〕

お客様ニーズに合った多様なご提案を致します。

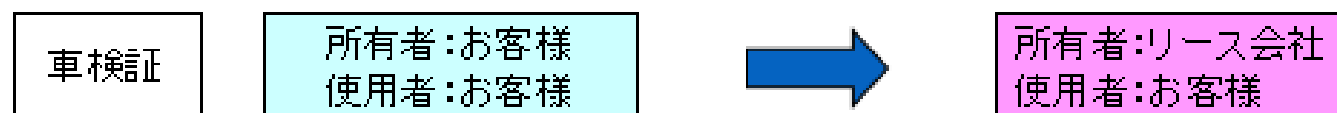
自動車リース事業

自動車リースバック

リースバックのご提案(メンテナンスリース)



- ①お客様にて所有(資産計上)されている車両を簿価にてリース会社を買取。
- ②車両毎の使用期間に応じ、リース期間を設定。メンテナンスリースとして契約。



導入メリット

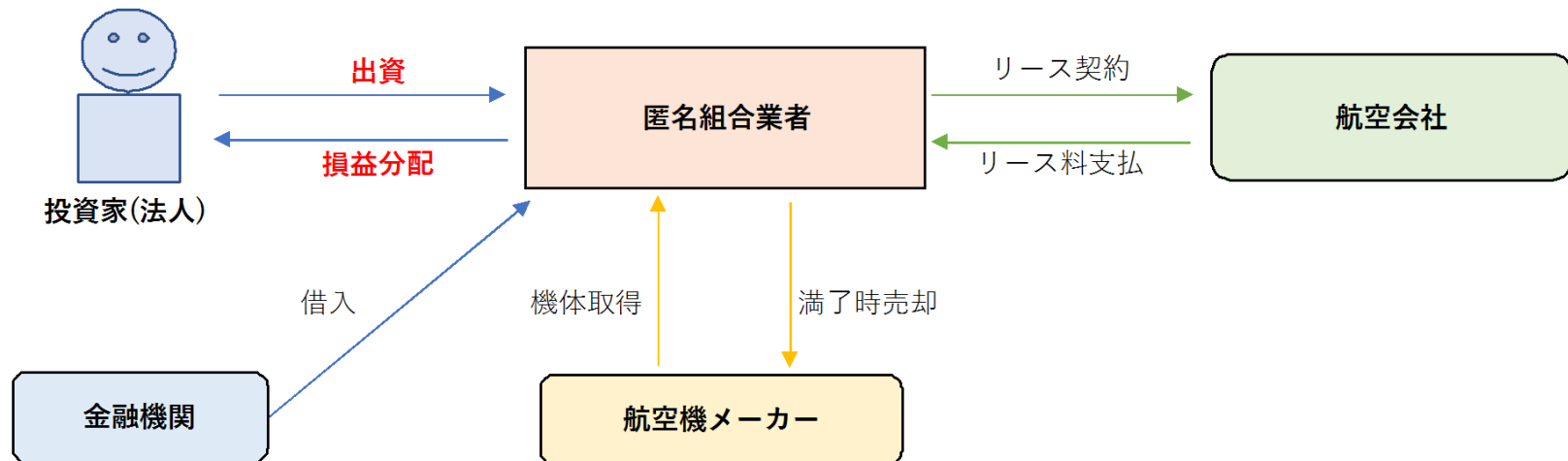
- 業務をアウトソーシング → 車両整備費用・管理業務の削減
- 期日管理、法定点検実施 → 使用リスクの削減(コンプライアンス遵守)

その他の事業

オペレーティングリース商品紹介

スキームイメージ

※航空機オペレーティングリースの場合

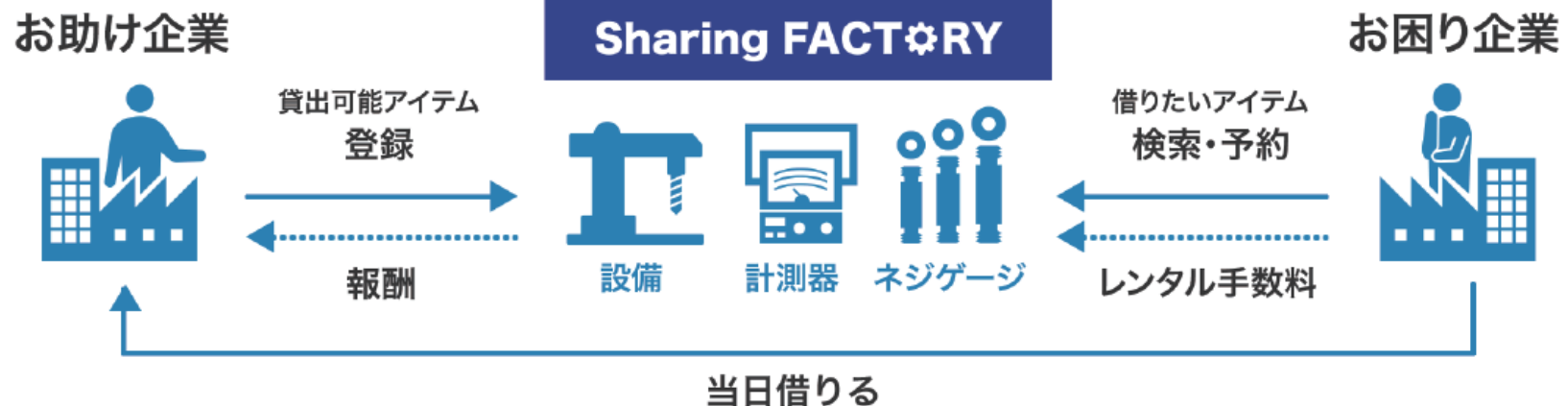


- 業務提携会社で取り扱うオペレーティングリース商品の紹介業務を通じてお客様の計画的な経営を支援
- 期間中は減価償却メリットを享受し、満了時に航空機の売却益を受け取り
 (※売却時の市場動向により金額上下有り)

その他の事業

シェアリングファクトリー事業紹介

スキームイメージ ※設備シェアリングの場合



設備・計測器シェアリング

設備・計測器を企業間で貸し借りすることができます。



遊休資産売買

遊休資産を企業間で直接売買することができます。

- 遊休資産のシェア/売買のプラットフォーム事業
- 余らせている設備の情報をサービスに登録し顧客同士でマッチング
- 効率的な設備の利用や中古品売買により顧客の課題を解決

取組事例集

- ◇限られた融資枠をリースで有効活用
- ◇リースバックによるオフバランス（流動化）
- ◇中小企業の小口設備資金にスピード対応
～ 創業支援リース（保証付リース） ～
- ◇乗用車からトラック・役員車まで幅広く対応
- ◇建物リースでお客様の遊休不動産を有効活用
- ◇LEDレンタルで初期投資不要のエネルギー削減

リース利用事例

融資枠を超えた設備資金ニーズをリースを利用し対応。

事例1

★ 金属製品加工・製造業 F社の場合（年商:12億）

- ～ 銀行は、他行全面肩代わりしたばかりで、顧客からの設備資金ニーズに対しては、**融資枠の問題もあり、対応が難しい状況。**
- ～ **銀行担当者より、リース利用を提案。**物件は40百万の工作機械。債務者現況から、他リース会社と協調（シンジケート組成）でリース取組。協調リースにより枠取100百万
- ～ リースと融資の両面の取引により**顧客との関係は維持**され**顧客の事業拡大投資に対応。**LEDレンタルにも繋がり、顧客が課題としていた省エネ対応も進んだ。

事例2

★ 医療コンサルA社の場合（年商:11億）

- ～ 事業運転資金対応先で、今後の**融資枠の問題もあり**、リース会社の割賦販売利用を提案。移転関連費用をリースと割賦を組み合わせで対応
- ～ 移転関連費用の**ほぼ全額を対応。**空調や内装等の建物付属設備を割賦契約
パソコン、事務機器等はリースにて対応。計30百万
- ～ 移転の初期投資が軽減され今後の事業資金も温存できた。

ヒント:上記の場合で、銀行が設備資金の一部を融資し、顧客はその借入金をリースまたは割賦契約の頭金に充当することで、期間短縮やリース料、賦払金を低下させることも可能。

リース利用事例

融資枠を超えた設備資金ニーズをリースを利用し対応。

事例3

★ お茶製品卸 S社の場合（年商15億）

- ～ 工場の増設に伴い、設備資金と運転資金のニーズあり。
- ～ 業況は堅調だが、法人の所有不動産なく従来から信用取引のため全額の融資取引は難しかった。→設備の一部（ティーパック充填シール機）35百万をリースにて対応。
- ～ リースを利用することにより**顧客の資金ニーズに全額対応**でき、増産による運転資金の確保が可能となった。

病院向けの賃貸資産をオフバランス化

★ 医療コンサルA社の場合（年商:11億）

- ～ 病院向けのシステム販売とSPD（Supply Processing & Distribution）物流管理が主力。また、病院向けに医療機器や病院システムをリースしており**固定資産圧縮と借入削減**のニーズ。
- ～ リースバックにより顧客固定資産を簿価で買取し、リース契約締結。（300百万）
- ～ 固定資産（賃貸資産）の流動化により、流動比率アップ財務内容の良化につながり、今後の銀行融資についても取組やすくなった。
今後の病院向け賃貸についても、リース契約（転貸方式）を採用することにより資産を膨らませることなく、継続した賃貸事業が行えることとなった。

事例4

リース利用事例

中小企業向けの設備資金ニーズをリースを利用し対応。

事例5

★ 物流業会社 K社の場合(年商3億)

- ～ 決算3期目の会社であり、規模は拡大しているものの収益拡大は今一步。銀行の融資も現状維持のため設備についてはリースにて紹介あり。
- ～ 与信面を考慮し保証付リースにて顧客へ提案。スピード対応(審査結果翌日回答)によりスムーズな設備導入ができた。(倉庫のラック2百万)
- ～ レンタル中のフォークリフトをリースにすることにより、経理合理化(経費削減)を提案し採用。物件価値にて信用補完し、リース会社の商社機能も活用。

事例6

★ ラーメン店経営 A社の場合(年商2億)

- ～ 本業はビル清掃業で新規事業としてラーメン店開業。開業資金のニーズ。わずかながら債務超過の決算であり、新規事業のため保証協会にて融資対応。
- ～ 保証協会では資金ニーズの一部しか承認とならず、厨房機器を保証付リースでリース契約。保証協会の「不足資金調達確認」条件を満たし融資実行。(リース9百万)
- ～ 融資とリースの協調取組により、顧客資金ニーズを満たした案件。

リース利用事例

新規開業時の設備費用をリースで対応。

事例7

★ 新規開業パン屋 Fの場合

- ～ 代表者は、製パン業勤務から独立し法人設立し、創業。
- ～ 銀行は、新規開業かつ資産背景も薄いとのことで、開業資金全額対応は厳しい為、設備資金の一部を保証付リースにて調達出来ないかを、弊社担当に相談。
- ～ 弊社としても、開業間もないため、直与信での対応は出来ず、**保証会社による保証付リース(クイックリース)を利用**し契約に至る。(5百万)

営業車両をリースバックし管理をアウトソーシング

事例8

★ 理美容用品販売 Q社の場合（年商:13億）

- ～ 九州一円に営業所を展開。営業車両約40台保有し車両管理を社内総務部にて行っていた。
- ～ 車両管理(点検、車検、保険、整備費用支払等)のアウトソーシングとして、リースバックを提案。メンテナンスリースにすることにより**業務合理化とリスク管理(車検切れ、整備不良等)を排除**。
- ～ メンテナンスリースにすることにより車検期日管理、定期整備実施、自動車税等費用の平準化が図れ、**事故等のリスクマネジメントとコストマネジメント**を行うことができた。

自動車リース事例

トラックのリース・割賦併用とBP利用による枠確保

事例9

★ 運送会社 D社の場合 年商:13億

- ～ トラック新車2台の導入計画。業容は安定しているが繰越欠損あり。
- ～ 現金購入では初年度償却大きく、リースによる**平準化(リース料均等で全額経費)**での導入を提案。
- ～ 銀行での融資(定率償却)とリース(平準化)による車両調達で利益の安定化が図れた。また、**銀行、九州リースの自動車リースビジネスパートナー2社の計3社**による枠取で今後の**計画的な新車導入が可能**となった。

役員車の割賦販売取組

事例10

★ 不動産業 K社の場合 年商:6億

- ～ 社長車の入れ替えて、ベンツ(SクラスAMG)を購入。
- ～ 嗜好性の高い車両であり、銀行の取組が難しかった。
- ～ 初年度償却の大きい割賦販売で取組。リースによる残価設定により毎月の支払が軽減される取組も可能。

建物リース事例

遊休不動産の活用

事例
11

★ 駐車場経営 Sの場合（個人事業主）

- ～ 福岡市内に立体駐車場を経営中。建物老朽化により取り壊すこととなったが、**再投資についてためらっていた**。土地賃貸としてテナントの募集について相談があったもの。
- ～ 九州リースにより大手ドラッグストアを紹介。九州リースが地主より土地賃借を受け、建物を所有してドラッグストアに**賃貸（建物リース）のスキーム**を提案。（100百万）
- ～ 地主は投資がなく賃料が得られ、**一定期間後に更地にて返還**するためリスク軽減につながった。また、地主は九州リースとドラッグストア2社の信用が得られた。

スーパー退去後のテナント誘致

事例
12

★ 不動産賃貸業 M社の場合（年商：5億）

- ～ 自社所有地に銀行融資にてスーパー用建物を建築し、賃貸を行っていた。**スーパーの撤退により、賃収がなくなり銀行返済リスク中。**
- ～ 九州リースより大手スーパーへ出店用地として提案し採用され、建物取り壊しの上、新たにスーパーをテナントとして誘致。（500百万）
- ～ 九州リースの土地敷金と、新テナントスーパーの開業により**銀行への返済が従来通り行うことができるようになった。**

LEDレンタル事例

初期投資不要の電気コスト削減

事例
13

★ カー用品販売 S社の場合 年商:6億

- ～ 店舗が新築より10年経過し、**蛍光灯安定器の交換**が発生。また、蛍光灯の色合いもまちまちであった。銀行担当者から相談があり**LEDレンタルを提案**。
- ～ **初期投資**がなく、製品保証も行う商品であることからほぼ即決で導入を決定。
3店舗分で投資額(工事含む)8百万
- ～ コスト削減にもつながったことから、お客様から銀行担当が評価され**新規融資実行**につながった。

長期使用が可能なLEDの特性を活用

事例
14

★ 医療法人 M社の場合 年商:38億

- ～ 医療介護報酬低下によりコスト削減ニーズが高い業種。LEDについては従来から検討をしていたが、メーカー、性能、償却の問題等で結論が出ていなかった。
- ～ レンタル方式の提案は初めてであり、全額経費計上、リース会計オフバランス対応長期保証が評価され導入となった。

ヒント:LEDは長時間点灯するゴルフ練習場や高所で交換費用がかかる工場、食品工場(ガラス混入なし)、女性が多い幼稚園等でコスト削減、長期交換不要のメリットが享受できます。

弊社の営業網

【営業担当エリア】

本社営業部	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号	TEL(092)431-2688 FAX(092)475-0943
北九州支店	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町一丁目5番1号 西日本FH北九州ビル4階	TEL(093)551-4461 FAX(093)531-7550
久留米支店	〒830-0032	久留米市東町35番3号 久留米昭光ビル6階	TEL(0942)38-3022 FAX(0942)35-5539
熊本支店	〒860-0806	熊本市中央区花畑町11-18 NCB熊本ビル4階	TEL(096)356-3666 FAX(096)322-1983
大分支店	〒870-0021	大分市府内町三丁目4番20号 大分恒和ビル3階	TEL(097)532-2468 FAX(097)537-8358
長崎支店	〒850-0875	長崎市栄町5番5号 FM長崎ビル6階	TEL(095)816-3917 FAX(095)816-3918
東京支店	〒104-0031	東京都中央区京橋二丁目5番18号 京橋創生館三階	TEL(03)3538-5908 FAX(03)3538-5909

- 本件についてのご質問等ございましたら、弊社窓口あてご照会下さいますようお願い申し上げます。